

令和6年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告

<事業概要>

当法人は、地域の関係機関と緊密に連携・調整を図りながら、夜間・休日における初期救急医療としての夜間休日救急診療所の運営、疾病の早期発見・早期治療に繋げる健診事業や健診結果を踏まえた事後支援事業を実施する健診センターの運営、また、医療従事者の安定的な確保に向けた地域医療従事者の養成を目的とした准看護高等専修学校や歯科衛生士専門学校等の運営を一体的に実施し、市民の皆様の健康維持・増進を図り、安全で安心な医療を受けられる環境を提供するとともに、地域医療の発展に寄与することを目的として各事業を推進しています。

まず、夜間休日救急診療所においては、急病患者的初期救急医療を主たる目的とし、宇都宮市の指定管理者として、宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと、管理運営を行っており、令和6年度においても、感染症対策として、感染症対策エリアでの診療、スマホ端末等を用いた遠隔診療やプレハブ等を活用した診療を行うとともに、発熱患者と一般患者の動線を分離した診療を実施しました。令和6年度の患者数については、延べ20,837人、前年度比774人、3.6%の減となりました。

健診センターにおいては、疾病を早期に発見し、早期に治療を促すため、市内の事業所等を対象とした「事業所健診」や市から受託している市民の皆様を対象とした「住民健診」のほか、児童・生徒を対象とした「子ども健診」等の各種健康診断の実施など市民の皆様の健康維持・増進に向けた事業を推進しております。これらの健康診断受診者の総件数については、延べ102,819件、前年度比2,031件、1.9%の減となりました。

准看護高等専修学校及び歯科衛生士専門学校においては、地域保健医療への貢献が期待される有能な人材を育成するため、教育環境や教育内容などの充実を図るとともに、新年度の入学生を確保するため、進学相談会への参加や学校見学会等を実施しました。

また、資格取得の支援及び就業支援に積極的に取り組み、地域医療の担い手として准看護師及び歯科衛生士を地域の医療機関等へ輩出いたしました。

1 夜間休日救急診療所部門

当診療所は、急病患者の応急処置を主たる目的として、夜間や休日等の初期救急医療を確保するため、宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと、毎夜間と日曜祝日の昼間に診療所を開設しております。

令和6年度の診療所実施状況については、昼間診療を75日、夜間診療（準夜・深夜）を365日実施し、医科・歯科を合わせた総患者数は、前年度比774人減の延べ20,837人となりました。

診療所においては、感染症対策として、引き続きスマホ端末等を用いた遠隔診療やプレハブ等を活用した診療を行うとともに、感染症患者専用の対策エリアにおいて一般の患者と感染の疑いのある患者の動線を分離するなど、安全・安心な受診環境の提供に努めました。

年末年始には、受付から診察、会計、投薬まで長時間の待機が生じ、診療人数の制限や近隣道路の交通渋滞が生じました。市や関係機関と連携し、待機時間削減と交通渋滞解消に向けた要因分析と対策の検討を進め、早期に具体的な対策を実行し、地域住民がより安心して初期救急医療を受けられる体制の整備、利便性の向上に努めていくこととしました。

(1) 実施状況

ア 診療日、診療時間、受付時間、開設日数

区分	診療科	診療日	診療時間	受付時間	開設日数
昼間	医科 歯科	日曜、祝日、国民の休日	午前9時～午後5時	午前8時30分～午前11時30分 午後0時30分～午後4時30分	75日
		旧盆（8/13～15）			
		年末年始（12/30～1/3）			
夜間	医科	毎日	午後7時30分～翌朝午前7時	午後7時～翌朝午前6時30分	365日
	歯科	毎日	午後7時30分～午前0時	午後7時～午後11時30分	

イ スタッフ動員数

（単位：人）

区分	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	衛生士	臨床検査技師	事務員	合計	前年度比	
									動員数	増減
昼間	251	90	174	469	105	—	415	1,504	1,433	71
準夜	804	382	473	1,680	399	—	1,365	5,103	5,224	△121
深夜	730	—	371	730	—	—	371	2,202	2,196	6
合計	1,785	472	1,018	2,879	504	—	2,151	8,809	8,853	△44
前年度	1,751	463	1,020	2,843	494	6	2,276	8,853		
増減	34	9	△2	36	10	△6	△125	△44		

ウ 医科患者利用状況

医科における令和 6 年度の患者数については、前年度比 1,067 人、5.3%減の 18,959 人となりました。

新型コロナウイルス感染症は、8 月と 1 月に患者数が増加し、今年度の新型コロナウイルス感染症患者数は、1,624 人となりました。

インフルエンザは、12 月からインフルエンザ A 型の患者が増え始め、1 月にピークを迎えましたが、インフルエンザ B 型の患者が少なかったことから、前年度比 553 人減の 2,509 人となりました。

①医科月別受診者数

(単位：人)

区 分		R6年								R7年				合 計	前年度比較			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日 数	増 減		
																患者数	増減率(%)	
昼 間	日数	5	7	5	5	8	7	5	6	7	8	6	6	75	74	1		
	患者数	326	608	218	381	879	459	269	432	1,247	1,487	516	406	7,228	7,737	△ 509	△ 6.6	
	1日平均	65.2	86.9	43.6	76.2	109.9	65.6	53.8	72.0	178.1	185.9	86.0	67.7	96.4	104.6	△ 8.2	△ 7.8	
準 夜 間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	366	△ 1		
	患者数	574	697	579	828	829	666	553	593	1,283	1,364	568	641	9,175	9,924	△ 749	△ 7.5	
	1日平均	19.1	22.5	19.3	26.7	26.7	22.2	17.8	19.8	41.4	44.0	20.3	20.7	25.1	27.1	△ 1.9	△ 7.3	
	患者数	173	188	196	246	269	211	177	144	329	240	185	198	2,556	2,365	191	8.1	
	1日平均	5.8	6.1	6.5	7.9	8.7	7.0	5.7	4.8	10.6	7.7	6.6	6.4	7.0	6.5	0.5	8.4	
合 計		1,073	1,493	993	1,455	1,977	1,336	999	1,169	2,859	3,091	1,269	1,245	18,959	20,026	△ 1,067	△ 5.3	
前年度		950	1,365	1,084	1,613	1,935	1,611	1,421	1,926	2,470	2,648	1,680	1,323	20,026				
増 減		123	128	△ 91	△ 158	42	△ 275	△ 422	△ 757	389	443	△ 411	△ 78	△ 1,067				
増減率(%)		12.9	9.4	△ 8.4	△ 9.8	2.2	△ 17.1	△ 29.7	△ 39.3	15.7	16.7	△ 24.5	△ 5.9	△ 5.3				

②新型コロナウイルス感染症患者数

(単位：人)

令和5年度	令和6年度	増 減	
		増減率(%)	
2,333	1,624	△ 709	△ 30.4

③インフルエンザ患者数

(単位：人)

令和5年度	令和6年度	増 減	
		増減率(%)	
3,062	2,509	△ 553	△ 18.1

④医科患者転送状況

(単位：人)

区 分	帰宅	転送	合計
患者数	18,332	627	18,959
構成比	96.7%	3.3%	100%
前年度	19,496	530	20,026
増 減	△ 1,164	97	△ 1,067
増減率(%)	△ 6.0	18.3	△ 5.3

⑤転送機関別内訳

(単位：人)

区分	後方2次病院					後方1.5次病院					獨 協	自 治	その他	合 計
	済生会	NHO栃	JCHO	宇記念	NHO宇	済生会	宇記念	柴	宇 東	宇第一				
転送数	302	118	61	73	10	7	3	0	3	3	18	15	14	627
構成比	48.2%	18.8%	9.7%	11.6%	1.6%	1.1%	0.5%	0.0%	0.5%	0.5%	2.9%	2.4%	2.2%	100%
前年度	272	95	59	50	3	6	2	0	1	0	18	15	9	530
増 減	30	23	2	23	7	1	1	0	2	3	0	0	5	97
増減率(%)	11.0	24.2	3.4	46.0	233.3	16.7	50.0	－	200.0	皆増	0.0	0.0	55.6	18.3

※後方2次病院…重症者又は入院を必要とする患者の転送先

後方1.5次病院…重症ではないが点滴等が必要で、当所の診療時間内に診療が終了しないと判断した患者等の転送先

⑥感染症疑い患者診療方法別受診人数

(単位：人)

診療科目 診療方法	内科	小児科	合 計
感染症対策エリア	347	2,880	3,227
コンテナ	0	0	0
スマホ端末	7,358	190	7,548
その他	58	4,059	4,117
合 計	7,763	7,129	14,892
前年度	7,456	8,385	15,841
増 減	307	△ 1,256	△ 949
増減率(%)	4.1	△ 15.0	△ 6.0

エ 歯科患者利用状況

歯科における令和6年度の患者数については、前年度比293人、18.5%増の1,878人となり増加傾向にありますが、新型コロナウイルス感染症の影響が少ない令和元年度と比較すると約7割程度の利用水準となっています。

また、発熱等により感染症対策エリアで診療した患者数は27人となりました。

①歯科月別受診者数

(単位：人)

区 分		R6年												合 計	前年度比較		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日数	増 減	
																患者数	増減率 (%)
昼 間	日数	5	7	5	5	8	7	5	6	7	8	6	6	75	74	1	
	患者数	36	65	20	36	126	36	27	33	118	99	42	27	665	539	126	23.4
	1日平均	7.2	9.3	4.0	7.2	15.8	5.1	5.4	5.5	16.9	12.4	7.0	4.5	8.9	7.3	1.6	21.7
夜 間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	366	△1	
	患者数	107	119	80	91	145	106	85	86	134	90	77	93	1,213	1,046	167	16.0
	1日平均	3.6	3.8	2.7	2.9	4.7	3.5	2.7	2.9	4.3	2.9	2.8	3.0	3.3	2.9	0.5	16.3
合 計		143	184	100	127	271	142	112	119	252	189	119	120	1,878	1,585	293	18.5
前年度		120	159	97	110	169	118	116	115	182	183	122	94	1,585			
増 減		23	25	3	17	102	24	△4	4	70	6	△3	26	293			
増減率 (%)		19.2	15.7	3.1	15.5	60.4	20.3	△3.4	3.5	38.5	3.3	△2.5	27.7	18.5			

②歯科患者転送状況 (単位：人)

区 分	帰 宅	転 送	合 計
患者数	1,864	14	1,878
構成比	99.3%	0.7%	100%
前年度	1,570	15	1,585
増 減	294	△1	293
増減率 (%)	18.7	△6.7	18.5

③転送機関別内訳 (単位：人)

区 分	NHO栃木	獨 協	自 治	その他	合 計
転送数	8	3	2	1	14
構成比	57.2%	21.4%	14.3%	7.1%	100%
前年度	9	6	0	0	15
増 減	△1	△3	2	1	△1
増減率 (%)	△11.1	△50.0	皆増	皆増	△6.7

(2) 診療体制

市民の皆様のニーズを踏まえた初期救急としての医療サービスを提供するため、感染予防策の徹底を図るとともに、関係医療機関との連携を図りながら、安全・安心な受診環境の提供に努めました。

ア 医師の安定確保を目指し、派遣協力医療機関との連携を図りました。

イ 後方2次病院及び後方1.5次病院をはじめ、協力医療機関との連携を図り、患者の円滑な転送に取り組みました。

ウ 医師の働き方改革関連法に適切に対応し、安定的・継続的に医師の確保が可能となるよう、協力をいただいている大学等との緊密な連携に努めました。

エ スタッフの配置については、適切なサービスの提供を前提として、年末年始における来所状況を踏まえ、スタッフの加配に努めました。

オ 医療サービス向上のため、4月、7月、12月に看護師、歯科衛生士、事務員を対象に繁忙期の診療体制の確認、緊急時の対応、感染症対策エリアでの診療等の研修を実施しました。また、3月には薬剤師を対象とした、災害時医薬品備蓄等についてなどの研修会を開催しました。

カ より安全・安心な初期救急医療を提供するため、ホームページやチラシなどにより市民の皆様に診療内容や受付時間・休憩時間等の適正受診に関する周知を図り、医療従事者の良好な勤務環境の整備に努めました。

キ 感染防止の徹底を図るため、PPE（個人用防護具）を装着した診療のほか、スマートフォン等を用いた遠隔診療やプレハブ等を活用した診療を行うとともに、感染症患者専用の対策エリアにおいて一般の患者と動線を分離した診療を実施しました。

ク 年末年始における混雑状況を踏まえ、関係機関等と協議を行い、必要な対応策について検討を行い、ICT化の推進や繁忙期におけるスタッフの加配などに取り組んでいくこととしました。

(3) 普及・啓発活動

市民の皆様に対し救急医療の理解と健康に対する知識の普及を図るため、以下の取り組みを実施しました。

ア 親子学級などにおける啓発活動

妊婦やその夫を対象に市保健センターで開催される「ママパパ学級」において、「救急医療の適正受診」に関することや、「夜間休日救急診療所の適切な利用の仕方」について市の所管課を通じて周知活動を行いました。

イ メディアを通じた啓発活動

ゴールデンウィーク、旧盆、年末年始における夜間休日救急診療所の利用の仕方や季節の節目における健康に関するワンポイントアドバイスをラジオで放送しました。

また、新聞折り込みにおいても、健康維持に関する啓発記事を、年2回（7月、10月）掲載しました。

ウ 公共機関等での啓発活動

保護者を対象に、夜間休日救急診療所の利用の仕方や症状に応じた対処法のチラシを、子育てサロンの利用者や「赤ちゃん訪問（市保健師訪問指導）」時に市の所管課を通じて配布しました。

2 健診センター部門

当健診センターは、市民の皆様の健康維持・増進を図るため、健診事業、健康支援事業、地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信、普及・啓発活動等を実施しています。

令和6年度は、健診事業において、国・市との連携による健診受診活動の強化や、各事業所への働きかけのほか、ニーズ等を踏まえたサービスの拡充に努めたことなどにより、事業所健診、住民健診、子ども健診の合計は、前年度比2,031件、1.9%減の102,819件となりました。

健康支援事業においては、保健指導の他に健康教室を開催するなど、健康支援事業全体で前年度比493件、12.8%増の4,346件の実施となりました。

また、ホームページやメディアの活用、イベントへの参加、事業団建物や検診車両への横断幕等による掲示など、様々な媒体や機会を捉えた普及・啓発活動に努めるとともに、受診率の向上、経費の削減など、安定的・効率的な事業実施に向けた課題への対応について、継続的に検討を行いました。

(1) 健診事業

健診受診件数

(単位：件)

健康診断種別		令和6年度		令和5年度		増減	
			構成比(%)		構成比(%)		増減率(%)
ア 事業所健診	定期健康診断	17,938	17.4	18,316	17.5	△378	△2.1
	生活習慣病予防健診	11,901	11.6	12,312	11.7	△411	△3.3
	人間ドック	2,152	2.1	1,796	1.7	356	19.8
	特殊健康診断	3,674	3.6	4,192	4.0	△518	△12.4
	結核検診	4,017	3.9	4,106	3.9	△89	△2.2
	その他の健診	2,469	2.4	2,417	2.3	52	2.2
	ストレスチェック	5,352	5.2	5,178	4.9	174	3.4
	小計	47,503	46.2	48,317	46.1	△814	△1.7
イ 住民健診	節目健診	1,876	1.8	2,065	2.0	△189	△9.2
	地区健診	6,430	6.3	6,284	6.0	146	2.3
	地区巡回健診	10,139	9.9	10,735	10.2	△596	△5.6
	乳がん検診	6,170	6.0	7,003	6.7	△833	△11.9
	子宮がん検診	5,652	5.5	5,717	5.5	△65	△1.1
	特定健康診断単独	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	結核検診	35	0.0	0	0.0	35	100.0
	その他の健診	11	0.0	37	0.0	△26	△70.3
	小計	30,313	29.5	31,841	30.4	△1,528	△4.8
ウ 子ども健診	心臓検診	13,120	12.8	13,332	12.7	△212	△1.6
	結核検診	4,863	4.7	4,549	4.3	314	6.9
	その他の健診	7,020	6.8	6,811	6.5	209	3.1
	小計	25,003	24.3	24,692	23.5	311	1.3
合計		102,819	100.0	104,850	100.0	△2,031	△1.9

※構成比の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の集計値の合計は必ずしも100%とならない場合があります。

ア 事業所健診

事業所健診については、より詳細な健診への切り替えや、協会けんぽ付加健診の対象が40・50歳から40歳から70歳までの5歳刻みの年齢に拡大したことから、付加健診への移行の推奨に努めました。こうした取組により、付加健診を計上しているドック健診は増加したものの、定期健康診断や特殊健診の減少により、事業所健診全体で前年度比814件、1.7%減の47,503件となりました。

イ 住民健診

宇都宮市から受託している住民健診については、市との連携による周知活動の強化に加え、令和6年度は受診回数を減らし、1回の定数を増やす見直しを行いました。1回あたりの受診人数は増えたものの、地区巡回健診や乳がん検診の減少により、住民健診全体で前年度比1,528件、4.8%減の30,313件となりました。

ウ 子ども健診

市内の小学校1年生、4年生及び中学校1年生の児童・生徒を対象とした主要事業の学校心臓検診については、前年度比1.6%減の13,120件となりました。また、コロナ禍以降集団健診を控えていた学校で、徐々に健診の内容が充実してきていることから、その他の健診におきましても昨年に比べて増加となり、子ども健診全体では、前年度比311件、1.3%増の25,003件となりました。

(2) 健康支援事業

健康支援事業実施件数

(単位：件)

保健指導区分	令和6年度		令和5年度		増減	
		構成比(%)		構成比(%)		増減率(%)
特定保健指導	995	22.9	921	23.9	74	8.0
その他の事後支援事業	3,351	77.1	2,932	76.1	419	14.3
合計	4,346	100.0	3,853	100.0	493	12.8

健康支援事業では、事業所健診及び住民健診において、健診日と同日に特定保健指導の初回面接実施や健康教室の回数を増やすなどの積極的な取組により、健康支援事業全体で前年度比493件増の4,346件の実施となりました。

(3) 地域の健康づくりに関する情報収集・情報提供

令和4年度の宇都宮市集団健診における発見がん追跡調査後のデータを活用し、宇都宮市民の各がんの傾向をまとめるとともに、令和5年度の実見がん追跡調査を実施し、栃木県がん集検協議会精度管理部会へデータの提供を行いました。

(4) 普及・啓発活動

ア メディアを通じた普及・啓発活動

新聞や生活情報誌に掲載することで、健診センターのPRやがん検診等の普及・啓発を行いました。

イ 各種健診の受診率向上への取組

① 事業団建物及び検診車両等を利用した市民への周知

健康診断を受診する契機とするため、各種運動月間等に合わせて横断幕や掲示板を事業団建物及び各検診車両に掲げ、広く市民の皆様へ周知しました。

掲示期間	内 容
4 月	健康診断受診勧奨
5 月	禁煙
6～8 月	健康診断受診勧奨
9 月	がん征圧
10～3 月	(外壁工事のため掲示なし)

② ピンクリボン運動月間における乳がん検診の普及啓発活動

子育て世代を対象にベビーマッサージ教室の開催や、10月のピンクリボン運動月間期間中の健診会場において、乳がん検診PRポケットティッシュを配布し、乳がん検診のPRを行いました。

③ 宇都宮市図書館広告掲載事業への参加

宇都宮市立図書館の返却用しおりに健康診断受診勧奨の広告を掲載し、図書館利用者対象に普及啓発を行いました。

④ イベント等への参加

- ・ リレー・フォー・ライフ 2024 とちぎ
- ・ 第19回うつのみや食育フェア
- ・ 第17回うつのみや人づくりフォーラム

ウ 保健師等による健康教室

保健師や管理栄養士が事業所等に出向き、従業員を対象に保健指導や健康講座を行い、健康に関する意識向上に努めました。

エ 健康冊子の配布及びホームページでの掲載

健康に関するテーマでリーフレットを作成し、市内の事業所等に配布するとともに、事業団ホームページに掲載して広く市民に健康情報を提供しました。

オ 宇都宮ブリッツェンとのコラボによる普及啓発

自転車プロロードレースチームである宇都宮ブリッツェンが主催するイベント会場において、健康講話や健康に関する資料の配布を行いました。

(5) 信頼される健診体制の維持・向上

ア 精度管理の向上

- ・ 人間ドック学会等が主催する各種研修会等に参加し、健診スタッフ個々の資質の向上に努めました。
- ・ 日常的に使用する各種検査機器が確実に稼動し、正確なデータを確保できるよう、日々の始業点検や保守点検を徹底するなど、内部精度管理の充実に努めました。
- ・ 全国労働衛生団体連合会が主催する胸部エックス線検査、腹部超音波検査、血液検体検査の外部精度管理を受審し、「良好」の評価を得ました。

イ 安全管理の徹底

健診業務において発生するおそれのある医療事故や交通事故防止のため、「健診事故防止対策委員会」等により、リスクマネジメントを積極的に推進するとともに、より機密性の高い個人情報を取り扱う健診機関として、健診データ等の取扱管理の安全対策を徹底し、安全・安心な健診の推進に努めました。

(6) 経営の安定化

健診受診率の向上や経費の削減など、安定的な事業運営のための検討を継続的に行いました。

(7) 感染症対策

各種健診事業を安心・安全に行うために、季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等、引き続き感染症予防対策を徹底して健診を行いました。

3 准看護高等専修学校部門

准看護師として地域の保健医療に貢献し得る有能な人材を育成するため、教育環境の充実や教員の資質向上を図るとともに、生徒の技術力の強化や臨地実習の指導の充実のため、効率的な教員配置などに努めました。また、少子化や看護系大学の増加による全国的な准看護学校の応募者・入学者減の傾向は続いている状況にある中、意欲ある生徒確保を目的とした広報活動を積極的に実施しましたが、本校においても、令和 7 年度生の受験者は、前年度より 8 名減少の 19 名となり、入学生は全受験者の 19 名となりました。定員に対する学生数は、平成 29 年度から、連続して定員を下回る状況にあります。

(1) 教育実施状況

学 年	人 数 6 年 4 月 (人)	教育科目（座学講義）					臨地実習		教育実施 時間合計 (時間)
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	合 計 (時間)	協 力 講師数 (人)	実 習 時 間 (時間)	実 習 施 設 (機関)	
		論理的 思考の 基礎	人体の仕組み と働き 栄養 薬理 疫病の成り立 ち その他	基 礎 看 護 成人看護 老年看護 母子看護 精神看護					
		人間と 生活・ 社会							
1 年生	26	70	248	512	830	50	238	14	1, 068
2 年生	14	0	102	223	325		497		822
合 計	40	70	350	735	1, 155	50	735	14	1, 890

(2) 生徒確保対策の強化

ア 学校訪問、県内のハローワーク（14 か所）、市・町のひとり親家庭に対する自立支援担当課及び福祉関係・生活保護担当課（25 か所）の訪問をはじめ、県内の児童養護施設や母子生活支援施設所管の社会福祉法人、精神科病院（11 か所）を訪問したほか、宇都宮市内の保育園への情報提供を行うとともに、子育てサロンにポスター掲示を依頼しました。

イ 学校見学会を年 3 回（8 月休日、9 月休日、10 月休日）実施しました。

ウ 生徒募集について、県内の高等学校、宇都宮市内の中学校、宇都宮市医師会及び宇都宮市内の福祉施設に募集要項を配付したほか、上都賀郡市医師会附属准看護学校の令和 6 年度での閉校に伴う対応として、上都賀郡市医師会所属会員 9 1 か所の医療機関に生徒募集ポスターを配付しました。また、インターネットによる募集や学校ツイッターの活用、宇都宮市広報紙及びタウン情報紙への掲載などにより情報発信に取り組みました。

エ 入学金や授業料等に係る生徒の経済的負担の軽減策としての貸与・給付や返還免除などの国や県の給付金や修学資金制度について、訪問先、学校見学会参加者、来校者に向け丁寧な制度の周知に取り組みました。

オ 入学試験の試験日や、試験科目の見直しを実施したほか、新たに栃木県の「公共職業訓練長期高度人材育成コース」を受講する方を受託するなど、生徒の確保に努めました。

(3) 教育環境の充実

ア 生徒指導、相談体制の強化を図るため、栃木県カウンセラー協会の認定カウンセラーによるカウンセリングを月 2 回実施し、生徒が健全な環境の中で勉学に励めるよう努めました。

イ 学習能力や家庭環境に問題を持つ生徒の個別相談、保護者との面談を行うとともに、個々の特性に合わせた指導を実施しました。

(4) 教育内容の充実

専任教員の資質の向上及び教育力の強化のため栃木県看護系教員協議会主催の下記の研修に参加しました。

- ・ 夏期（8 月）研修会、12 月研修会

(5) 実践活動の充実

学年間の交流を図るとともに、感性を豊かにすることを目的として、4 月に校内及び大谷資料館などにおいて、1・2 年生合同の研修を実施しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

ア 准看護師募集機関と生徒の希望・特性とのマッチング等を図るための相談及び指導を行うとともに、栃木県看護協会が実施する看護学生への就労指導啓発事業を利用し、同協会教育研修課長による特別講義を実施しました。

イ 就業支援を行い、2 年生 11 名のうち 7 名が県内の医療機関に就職しました。

(7) 生徒の状況

ア 1 年生の状況

	人 数	備 考
生徒数	26	入学者 26 名（受験者数 27 名）
進路変更等	8	退学者 7 名，留年者 1 名
進級者	18	

イ 2年生の状況

	人 数	備 考
卒業生	11	
うち准看護師試験合格者	11	合格率 100%
(卒業生の進路)		
看護師学校進学者	3	
看護師学校進学兼就職者	0	
医療機関就職者	7	就職率 87.5%
その他	1	
その他 進路変更等	3	退学 3 名
合 計	14	

ウ 令和7年度入学生の募集状況

試験科目…………… 作文, 面接

	試 験 日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
推 薦 入 試	令和6年10月1日 (作文・面接)	2	2(2)	
一般入試(第1回)	令和6年11月5日 (作文, 面接)	4	4(4)	
一般入試(第2回)	令和7年1月28日 (作文, 面接)	6	6(6)	
一般入試(第3回)	令和7年3月11日 (作文, 面接)	7	7(7)	
合 計		19	19(19)	1.00

※ 令和7年度入学生 19名

4 歯科衛生士専門学校部門

歯科衛生士として時代の要請に応える知識や技術を修得させ、口腔衛生の向上に資する有能な人材を養成するため、講師及び臨床実習指導教員との連携徹底し指導の強化に努めるとともに、教育器材やマイクシステムの整備を行うなど、教育環境の充実を図りました。また、授業計画に基づく講義や、病院、介護施設・障害者施設における実習を実施しつつ、3年生については、地域医療機関への就業支援を行い、歯科衛生士としての進路が決定できるよう支援しました。

また、学生の確保の取組として、学生募集案内ポスターの掲示を市内外の歯科医院はもとより、高校や中学校、JR宇都宮駅・東武宇都宮駅構内などの公共施設に加え、新たに大型商業施設やコンビニなどの民間施設へも拡大するとともに、オリオンスクエア大型映像装置や学校カレンダーを活用し本校と歯科衛生士の魅力についても積極的に発信しました。

(1) 教育実施状況

学 年	人 数 6年4月 時点 (人)	教育科目（座学講義）					
		基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択・必修分野	合 計	講師数
		英語 生物 心理学 その他	解剖学 組織発生学 生理学 生化学 歯牙解剖学 病理学 薬理学 その他	歯科衛生士概論 歯科臨床概論 保存修復歯内療法 歯科補綴学 歯周保存療法 口腔外科学 その他	情報処理 社会人マナー 耳鼻科 内科 小児科		
		(時間)	(時間)	(時間)	(時間)	(時間)	(人)
1年生	43	105	204	471	30	810	35
2年生	39	30	30	105	45	210	11
3年生	45	15	198	423	30	666	10
合 計	127	150	432	999	105	1,686	56

臨地実習 (施設臨床実習及び介護施設実習含む)		教 育 実 施 時 間 合 計 (時間)
実 習 時 間 (時間)	実 習 施 設 (機関)	
—	—	810
765	37	975
135		801
900	37	2,586

(2) 学生確保対策の強化

ア 学校ホームページ、Instagramを活用した広報活動を徹底しました。

イ 入学案内のため、推薦指定校等へ学校訪問し、資料を送付しました。

ウ オープンキャンパスを約半月間前倒しし、回数を増やして計8回（7～9月）実施しました。
エ 栄美通信主催進学相談会のほか、栃木県内の学校等で開催される進路相談会に参加しました。
オ 広報活動の充実を図るため、主に下記の取組を実施しました。

- ・ 県内の歯科医院等へ学生募集ポスターを掲示
- ・ 宇都宮市内の全中学校に加え J R 宇都宮駅東西自由通路、駐輪場など公共施設へ掲示を拡大
- ・ これまでの J R 宇都宮駅及び東武宇都宮駅構内に加え、大型商業施設、スーパー、コンビニなどの民間移設へ掲示箇所を拡大
- ・ 宇都宮市広報紙（10月、12月）やインターネット及び新聞掲載による学生募集の広報を実施
- ・ 宇都宮市立図書館の「図書館のしおり」に広告を掲載
- ・ オリオンスクエア大型映像装置や学校カレンダーを活用し本校と歯科衛生士の魅力を発信

(3) 教育環境の充実

ア 教室内マイクシステムの導入や事務用パソコンの更新など教育環境の充実を図りました。

(4) 教育内容の充実

- ア 新入学生を対象として「入学前教育プログラム」を実施し、学習習慣の維持や国家資格取得に必要な基礎学力の育成を図りました。
- イ 講師及び指導教員との円滑な連携の推進を図るため、講師・指導教員打合せ会を開催し、実習内容等について協議を行いました（参加者94名）。
- ウ 国家試験合格率の向上を図るため、国家試験特別講義や補講を実施しました。
- エ 歯科衛生士専任教員講習会の受講などにより、専任教員の資質向上を図りました。

(5) 実践活動の充実

- ア 通常の講義に加え、「病院実習における心構え」、「シャープニング」、「病院歯科における歯科衛生士の役割」等の特別講義を実施しました。
- イ 「フッ化物塗布事業」や「歯の健康教室」へ参加しました。
- ウ ㈱ナカニシ（歯科医療関連企業）の本社・工場を見学しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

- ア 歯科衛生士の資格を習得させ、地域の医療機関等へ積極的に就業させることにより地域医療従事者の提供体制の充実に努めるとともに、11月より就業支援を行い、就職希望者44名中43名が就職しました。
- イ 宇都宮市内に就業した成績優秀者を表彰しました。

(7) 奨学金の貸付

ア 学生5名に対し奨学金の無利子貸し付けを行いました。

(8) 学生の状況

ア 1年生（第47期生）の状況

	人数	備 考
学生数	43	入学者 43 名（受験者数 50 名）
進路変更等	3	退学者 3 名
進級者	40	

イ 2年生（第46期生）の状況

	人数	備 考
学生数	39	
進路変更	1	退学者 1名
休学	1	休学者 1名
進級者	37	

ウ 3年生（第45期生）の状況

	人数	備 考
卒業生	45	
うち歯科衛生士国家試験合格者	40	合格率 88.8%
卒業生の進路		
医療機関就職者（歯科衛生士）	39	就職希望者 44名中就職者 43名 (就職率 97.7%)
医療機関就職者（歯科助手）	4	
就職活動中	1	
進路変更	1	
合 計	45	

エ 令和7年度入学生の募集状況

試験科目……………書類審査（AO・推薦）国語総合（一般）、適性検査、面接

試験区分	試 験 日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
AO入学	令和6年 9月 8日	40	35 (34)	
推薦入学	令和6年10月10日	15	15 (15)	
一般入学(第1回)	令和6年12月 8日	9	1 (1)	
一般入学(第2回)	令和7年 1月16日	8	2 (1)	
一般入学(第3回)	定員を満たしたため 未実施	—	—	
合 計		72	53 (51)	1.35

※ 入学定員 50名

※ AO入学（アドミッションズ・オフィスの略）

論文や面接から志願者の意欲や個性などを測り、学校が求める学生像に合った入学生を選抜する。

※ 特別入学 受験者なしのため未実施

5 その他の事項

(1) 理事会に関する事項

会議名	開催（議決） 年月日	件名
第1回 理事会定例会	令和6年 5月31日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 令和5年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等候補者の推薦について 議案第3号 令和6年度第1回評議員会定時会の招集について
第2回 理事会臨時会	令和6年 6月20日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事長，同副理事長，同常務理事の選定について
第3回 理事会定例会	令和6年 12月26日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 専決処分した事件の承認について 議案第2号 専決処分した事件の承認について 議案第3号 専決処分した事件の承認について 議案第4号 令和6年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算（第4号）について 議案第5号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団就業規則の一部改正について 議案第6号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団給与及び旅費規程の一部改正について 議案第7号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団退職手当規程の一部改正について 議案第8号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属宇都宮歯科衛生士専門学校臨床実習施設の変更について
第4回 理事会定例会	令和7年 3月25日	議案第1号 専決処分した事件の承認について 議案第2号 令和6年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算（第5号） 議案第3号 令和7年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業計画及び収支予算 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事務局長の選任について 議案第5号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について 議案第6号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団就業規則の一部改正について

(2) 評議員会に関する事項

会議名	開催（議決） 年月日	件名
第1回 評議員会定時会	令和6年 6月20日	議案第1号 令和5年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事の選任について 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団監事の選任について

(3) 登記事項

登 記 原 因 年 月 日	申 請 先	事 項	登 記 年 月 日
令和 5 年 7 月 13 日	宇都宮地方法務局	役員等変更登記	令和 6 年 6 月 17 日
令和 5 年 7 月 28 日			
令和 5 年 9 月 1 日			
令和 6 年 1 月 5 日			
令和 6 年 3 月 1 日			
令和 6 年 6 月 20 日			令和 6 年 7 月 12 日

(4) 栃木県知事に対する届出等に関する事項

届 出 年 月 日	事 項
令和 6 年 6 月 26 日	事業報告等の提出
令和 6 年 6 月 28 日	変更の届出（役員等の変更）
令和 6 年 8 月 7 日	
令和 7 年 3 月 31 日	事業計画等の提出

(5) 役員等に関する事項（令和 7 年 3 月 31 日現在）

役職名	人 数	氏 名	備 考
理 事 長	1	松本 国彦	
副理事長	1	北條 茂男	
常務理事	1	塙 雅彦	
理 事	7	増山 哲茂	
		遠藤 秀樹	
		北條 雅人	
		黛 久美子	令和 6 年 6 月 20 日就任
		田谷 浩行	
		齋藤 高藏	
		高橋 拓	令和 6 年 6 月 20 日就任
監 事	2	佐藤千鶴子	令和 6 年 6 月 20 日就任
		佐藤 斉	令和 6 年 6 月 20 日就任
評 議 員	11	野間 重孝	
		近澤幸嗣郎	
		青木 孝	
		廣瀬 誠	
		酒井 典久	
		小島 泰久	

		青木 隆夫	
		杉本 育夫	
		宮崎 務	
		福田 久則	
		町田 明久	令和6年6月20日就任
合 計	23		

(6) 職員に関する事項（令和7年3月31日現在）

職 名 部門	事務局長	次 長	課 長 学科長 主 幹	課長補佐 GL 副主幹 副 主 幹	係長 GL 主査 教務主任 主査	主 任	主任書記 主任技師	書 記 技 師	専任教員	嘱託員	合 計
事務局	(1)									1	1
総務課			1				2	1			4
救急診療所			1		2		1			2	6
健診センター											0
事業推進課			1		1	3	5	3		1	14
健診課			1	1	10	2	2	5			21
准看護学校			(2)		1				1	2	4
歯科衛生士学校			1 (1)		1				2	2	6
合 計	0	0	5	1	15	5	10	9	3	8	56

※ 事務局長，准看護学校学科長及び歯科衛生士学校学科長は嘱託員（括弧内の数字）である。